

「土産物」を買う行為よりも、 会社の対応を異常に感じる！

2月2日、会社は勤務時間外で土産物を買ってきた組合員に対して6人～7人の東京第一運輸所の管理者が取り囲み、事情聴取を行いました。また、土産のお酒を没収したのです。

会社は「風紀が乱れる」ことを理由にしていますが、そのことを伝えるためになぜ多数の管理者が必要なのでしょう。事情聴取を行った管理者の中には挑発行為を行う管理者も存在し、本来伝える主旨から逸脱する異常な行為も発生しました。

また、大阪第二運輸所の管理者は、新大阪に到着し職場に戻った組合員に対して車掌の乗務が再度予定されているにも関わらず急遽乗務を外し、再度事情聴取を行いました。分会役員が乗務出来ない理由を聞いても、正当な理由を応えようとしない不誠実な対応に終始しました。その時対応した栗本営業科長は両手をポケットに入れながら抗議に来た役員を追い払おうともしました。この姿がブランドクオリティを指導する側の現実です。その後会社は、組合員の翌日（2/3）の乗務も外し「日勤」を指定したのです。

翌日の机上訓練の場でも早速、買った土産物の写真を取り上げ今回の組合員の行為を問題にしています。これまでもそうですが、社員が起こした行為についてはいかなる理由があっても、「見せしめ」として全社員に問題だと知らせています。けっして乗務中に飲酒する目的で買ったのではなくても、それは許されないそうです。

しかし、私たちは「わざわざ日勤にする必要があるのか！」「管理者の行為は異常ではないのか！」と訴えます。

土産物の種類が問題ではない！ 組織への報復が目的だ！

2月1日に新しい仲間がJ R東海労に加入されました。元の組合はもとより会社が苦々しく思っていることと感じます。お土産を買った組合員への異常な対応もこうした会社の思い・報復行為が先行した行為であり断じて許せない行為であるとして抗議します！